



2025年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 2579 URL <https://www.ccbj-holdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) カリン・ドラガン
問合せ先責任者 (役職名) 財務本部 コントローラーズ (氏名) 石川 達仁 TEL 0800-919-0509
シニアグループ統括部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	683,523	1.0	24,459	66.5	△70,060	—	△48,659	—	△48,734	—	△47,846	—
2024年12月期第3四半期	676,612	1.9	14,690	150.4	17,592	187.4	10,077	159.1	10,017	159.4	11,408	124.3

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第3四半期	△282	35	—	—
2024年12月期第3四半期	55	79	55	41

※事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものであります。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	%
2025年12月期第3四半期	709,024		385,836		385,550	54.4
2024年12月期	804,153		466,443		466,203	58.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末		第2四半期末		合計
	円	銭	円	銭	円 銭
2024年12月期	—	—	25.00	—	28.00 53.00
2025年12月期	—	—	28.00	—	—
2025年12月期(予想)					32.00 60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	887,900	△0.5	24,000	99.2	△71,000	—	△71,200	—	△49,300	—	△49,400	△288.59

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、2025年8月1日付「自己株式取得に関するお知らせ」にて開示したとおり、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	183,268,593株	2024年12月期	183,268,593株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	15,179,698株	2024年12月期	5,573,887株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	172,599,946株	2024年12月期 3 Q	179,552,201株

(注) 当社は役員報酬BIP信託および株式付与信託ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(要約四半期連結損益計算書)	6
(要約四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当該内容の詳細については、本日10月31日（金）午後5時30分より開催の決算説明会の資料を当社ウェブサイト（<https://www.ccbj-holdings.com/ir/library/presentation.php>）に掲載しておりますので、そちらをご参照ください。決算説明会のライブおよびオンデマンド配信は当社ウェブサイトにて行っております。

なお、当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日～9月30日、以下「当第3四半期累計期間」）の業績の概要は以下のとおりです。

業績の概要

第3四半期累計期間（1月1日～9月30日）

	(単位：百万円、販売数量を除く)		
	2024年	2025年	増減率 (%)
売上収益	676,612	683,523	1.0
販売数量（百万ケース）	385	381	△1
売上総利益	303,523	305,957	0.8
販売費及び一般管理費	288,536	281,215	△2.5
その他の収益（経常的に発生した収益）	769	481	△37.4
その他の費用（経常的に発生した費用）	1,105	863	△21.9
持分法による投資利益	39	99	154.8
事業利益	14,690	24,459	66.5
その他の収益（非経常的に発生した収益）	5,478	1,274	△76.8
その他の費用（非経常的に発生した費用）	2,576	95,793	—
営業利益（△は損失）	17,592	△70,060	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益（△は損失）	10,017	△48,734	—

※事業利益は、事業の経常的な業績をはかるための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

当第3四半期累計期間の販売数量は、前期に実施した価格改定による需要へのマイナス影響に加え、前年同期における「綾鷹」フルリニューアルの成功や南海トラフ地震臨時情報発表による販売数量急増の反動があったものの、コアカテゴリーの強化や売場の拡大、効果的なマーケティング活動などに取り組んだことにより、前年同期比1%減少となり、市場全体の伸張率を上回る結果となりました。

連結売上収益は、683,523百万円（前年同期と比べ6,911百万円、1.0%の増加）となりました。販売数量減少やチャネルミックス変化の影響を受けたものの、価格改定の効果としてケース当たり納価が改善し、売上収益は前年同期を上回る結果となりました。

連結事業利益は、24,459百万円（前年同期と比べ9,769百万円、66.5%の増加）となりました。売上収益増加による利益貢献に加え、変革を通じたコスト削減や、費用対効果を重視したマーケティング活動による販促費の減少などが、収益性改善に貢献いたしました。

連結営業利益は、前年同期と比べ87,653百万円減少し、70,060百万円の損失（前年同期の連結営業利益は17,592百万円）となりました。これは、事業利益が前年同期と比べ増加した一方で、第2四半期（2025年4月1日～6月30日）に、ベンディング事業において、将来の最適な資本配分を実現するために、固定資産の再評価を実施し、キャッシュアウトをとまなわない減損損失を計上したことによるものです。なお、当第3四半期累計期間のその他の収益（非経常）には、バランスシートの最適化を進める過程で計上した有形固定資産売却益1,250百万円が含まれております。また、その他の費用（非経常）には、前述のベンディング事業における減損を主因とした減損損失89,319百万円や、希望退職プログラム実施にともなう特別退職加算金3,268百万円、抜本的な変革の実行に係る事業構造改善費用2,683百万円などが含まれております。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、営業利益が前年同期と比べ減少したことなどから、前年同期と比べ58,751百万円減少し、48,734百万円の損失（前年同期の親会社の所有者に帰属する四半期利益は10,017百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期より、報告セグメントの区分を変更しております。当第3四半期累計期間と前年同期のセグメントごとの経営成績の比較・分析は変更後の区分に基づいて記載しております。

① ベンディング事業

売上収益は305,696百万円（前年同期と比べ5,022百万円、1.6%の減少）となりました。セグメント利益は8,310百万円（前年同期と比べ3,055百万円、58.1%の増加）となりました。

② OTC事業

売上収益は321,260百万円（前年同期と比べ7,730百万円、2.5%の増加）となりました。セグメント利益は40,478百万円（前年同期と比べ2,445百万円、6.4%の増加）となりました。

③ フードサービス事業

売上収益は33,301百万円（前年同期と比べ2,562百万円、8.3%の増加）となりました。セグメント利益は6,343百万円（前年同期と比べ1,381百万円、27.8%の増加）となりました。

また、2025年10月31日付「2025年12月期 通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」ならびに「自己株式の取得状況および取得終了ならびに自己株式の消却に関するお知らせ」のとおり、このたび、2025年12月期の通期事業利益計画を上方修正するとともに、新中期経営計画「Vision 2030」における株主価値増大の方針に基づき、株主還元を拡充させる旨を決定いたしました。これにより、通期の事業利益は、2025年2月13日付で発表した期初の数値を20%上回る240億円を目指してまいります。株主還元については、このたびの新たな施策として、発行済株式総数の6.5%の自己株式12百万株の消却や1株当たり期末配当金（予想）の期初比10%上方修正を実施するとともに、2025年8月1日付「自己株式取得に関するお知らせ」のとおり、11月から300億円または15百万株を上限とした自己株式取得を開始し、株主価値のさらなる向上を図ってまいります。

（2）連結財政状態に関する説明

総資産は、709,024百万円となり、前連結会計年度末（以下「前期末」）と比べ95,128百万円減少しました。これは主に、「有形固定資産」が減少したことによるものです。

負債合計は、323,188百万円となり、前期末と比べ14,522百万円減少しました。これは主に、「リース負債」が減少したことによるものです。

資本合計は、385,836百万円となり、前期末と比べ80,606百万円減少しました。これは主に、「利益剰余金」の減少や自己株式の取得があったことによるものです。

また、当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、34,306百万円の収入（前年同期は32,987百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期損失を計上したものの、これを上回る「減価償却費及び償却費」や「減損損失」が含まれていることによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、21,663百万円の支出（前年同期は10,986百万円の支出）となりました。これは主に、「有形固定資産、無形資産の取得による支出」があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、39,160百万円の支出（前年同期は51,756百万円の支出）となりました。これは主に、「自己株式の取得による支出」や「配当金の支払額」があったことによるものです。

以上の結果、当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は61,942百万円（前期末と比べ26,531百万円減少）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間におきまして、売上収益、事業利益ともに前年同期を上回る結果となり、堅調に推移しておりますが、売上収益につきましては当第3四半期会計期間（2025年7月1日～9月30日）における前年同期からの反動による減少影響や足元の消費環境を織り込み、前回予想を下回る見込みとなりました。一方、事業利益につきましては収益性重視の営業活動や変革を通じたコスト削減等が貢献し、前回予想を上回る見込みとなりました。営業利益につきましては、予定していた固定資産売却の実施時期を来年度へ見直したことにより前回予想を下回る見込みとなりました。これらの状況を勘案し、2025年8月1日付の通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「2025年12月期 通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	88,473	61,942
営業債権及びその他の債権	119,551	129,666
棚卸資産	73,890	78,691
その他の金融資産	688	257
その他の流動資産	9,856	11,517
流動資産合計	292,458	282,074
非流動資産		
有形固定資産	382,794	298,498
使用権資産	26,930	19,600
無形資産	63,273	48,466
持分法で会計処理されている投資	326	445
その他の金融資産	10,908	12,979
繰延税金資産	22,933	42,451
その他の非流動資産	4,531	4,512
非流動資産合計	511,695	426,950
資産合計	804,153	709,024

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	120,367	125,564
社債及び借入金	1,000	63,971
リース負債	5,765	6,372
その他の金融負債	947	717
未払法人所得税	2,374	1,996
その他の流動負債	27,488	24,790
流動負債合計	157,943	223,411
非流動負債		
社債及び借入金	113,852	49,919
リース負債	22,047	13,656
その他の金融負債	—	16
退職給付に係る負債	21,803	20,728
引当金	1,506	1,480
繰延税金負債	16,405	11,134
その他の非流動負債	4,155	2,844
非流動負債合計	179,767	99,777
負債合計	337,710	323,188
資本		
資本金	15,232	15,232
資本剰余金	378,459	378,322
利益剰余金	87,317	28,830
自己株式	△16,297	△39,441
その他の包括利益累計額	1,492	2,606
親会社の所有者に帰属する持分合計	466,203	385,550
非支配持分	240	287
資本合計	466,443	385,836
負債及び資本合計	804,153	709,024

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	676,612	683,523
売上原価	373,090	377,567
売上総利益	303,523	305,957
販売費及び一般管理費	288,536	281,215
その他の収益	6,247	1,755
その他の費用	3,681	96,656
持分法による投資利益	39	99
営業利益 (△は損失)	17,592	△70,060
金融収益	302	349
金融費用	657	489
税引前四半期利益 (△は損失)	17,238	△70,200
法人所得税費用	7,161	△21,542
四半期利益 (△は損失)	10,077	△48,659
四半期利益 (△は損失) の帰属：		
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (△は損失)	10,017	△48,734
非支配持分	60	75
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	55.79	△282.35
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	55.41	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期利益 (△は損失)	10,077	△48,659
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融資産の純変動	1,112	1,438
小計	1,112	1,438
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	218	△626
小計	218	△626
その他の包括利益合計	1,330	812
四半期包括利益	11,408	△47,846

四半期包括利益の帰属：

親会社の所有者	11,348	△47,921
非支配持分	60	75

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 包括利益 累計額	合計		
2024年1月1日残高	15,232	451,389	88,365	△85,362	223	469,847	174	470,021
四半期包括利益								
四半期利益	—	—	10,017	—	—	10,017	60	10,077
その他の包括利益	—	—	—	—	1,330	1,330	—	1,330
四半期包括利益合計	—	—	10,017	—	1,330	11,348	60	11,408
所有者との取引額等								
剰余金の配当	—	—	△8,975	—	—	△8,975	△17	△8,993
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	△6	—	△6
自己株式の処分	—	△183	—	472	—	289	—	289
株式に基づく報酬取引	—	284	—	—	—	284	—	284
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	—	—	384	—	△384	—	—	—
その他の包括利益累計額から非金融資産への振替	—	—	—	—	224	224	—	224
その他の増減	—	—	—	—	—	—	4	4
所有者との取引額等合計	—	101	△8,592	466	△160	△8,185	△13	△8,198
2024年9月30日残高	15,232	451,490	89,790	△84,896	1,393	473,009	221	473,230

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 包括利益 累計額	合計		
2025年1月1日残高	15,232	378,459	87,317	△16,297	1,492	466,203	240	466,443
四半期包括利益								
四半期利益（△は損失）	—	—	△48,734	—	—	△48,734	75	△48,659
その他の包括利益	—	—	—	—	812	812	—	812
四半期包括利益合計	—	—	△48,734	—	812	△47,921	75	△47,846
所有者との取引額等								
剰余金の配当	—	—	△9,763	—	—	△9,763	△29	△9,791
自己株式の取得	—	△2	—	△23,598	—	△23,600	—	△23,600
自己株式の処分	—	△209	—	455	—	246	—	246
株式に基づく報酬取引	—	90	—	—	—	90	—	90
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	—	—	9	—	△9	—	—	—
その他の包括利益累計額から非金融資産への振替	—	—	—	—	325	325	—	325
その他の増減	—	△15	—	—	△14	△30	—	△30
所有者との取引額等合計	—	△136	△9,753	△23,143	301	△32,732	△29	△32,760
2025年9月30日残高	15,232	378,322	28,830	△39,441	2,606	385,550	287	385,836

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	17,238	△70,200
調整項目：		
減価償却費及び償却費	34,162	31,127
減損損失	651	89,319
貸倒引当金の増加額	12	41
受取利息及び受取配当金	△86	△63
支払利息	587	479
持分法による投資利益	△39	△99
有形固定資産売却益	△5,501	△1,250
有形固定資産及び無形資産除売却損	857	782
営業債権及びその他の債権の増加額 (△)	△6,814	△10,186
棚卸資産の増加額 (△)	△1,180	△4,801
その他の資産の増加額 (△)	△3,330	△2,160
営業債務及びその他の債務の増加額	7,694	8,167
退職給付に係る負債 (純額) の増加額	1,807	625
その他の負債の減少額 (△)	△5,472	△3,250
その他	△25	△95
小計	40,560	38,437
利息の受取額	3	24
配当金の受取額	84	38
利息の支払額	△602	△503
法人所得税の支払額	△7,058	△4,551
法人所得税の還付額	1	861
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	32,987	34,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産、無形資産の取得による支出	△21,979	△21,443
有形固定資産、無形資産の売却による収入	9,583	2,569
その他の金融資産の取得による支出	△3	△3
その他の金融資産の売却による収入	1,510	53
子会社株式の売却による支出	—	△2,757
その他	△96	△83
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△10,986	△21,663

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済額	△1,000	△1,000
社債の償還による支出	△40,000	—
リース負債の返済による支出	△4,798	△5,014
自己株式の処分による収入	289	246
自己株式の取得による支出	△6	△23,600
配当金の支払額	△8,975	△9,763
非支配持分への配当金の支払額	△17	△29
セール・アンド・リースバックによる収入	2,747	—
その他	4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△51,756	△39,160
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△14
現金及び現金同等物の減少額(△)	△29,756	△26,531
現金及び現金同等物の期首残高	113,660	88,473
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,904	61,942

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(使用権資産の耐用年数の変更)

当社グループは、従来、営業拠点等に係る使用権資産について、開始日から主として15年にわたって定額法で減価償却を行ってきましたが、柔軟で機動的なサプライチェーン体制を実現するための取り組みとして既存の営業拠点等の統廃合を進めていく方針であることや、顧客対応の多様化などから営業拠点等の長期契約の方針を転換してきていること、ならびに、物流ネットワークのさらなる強化に向け2025年12月期以降、新たに機能統合型物流センター(IDC)を稼働させていくことなどをふまえ、当連結会計年度より耐用年数（リース期間）を変更しております。

この変更にともない、従来のリース期間によった場合と比較して、当第3四半期連結会計期間末の使用権資産は9,689百万円減少し、リース負債は9,655百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の税引前損失が35百万円増加しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会(最高経営意思決定者)が経営資源の配分の決定をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは主要な製品・サービスまたは事業内容別に組織運営体制を確立しており、以下のとおり「ベンディング事業」、「OTC（手売り）事業」および「フードサービス事業」の3つのビジネスユニットを事業セグメントおよび報告セグメントとしております。報告セグメントを形成していない事業セグメントおよび集約した事業セグメントはありません。

報告セグメント	事業内容
ベンディング事業	日本のベンディングチャネルにおける飲料等の仕入、製造・販売、ボトリング、パッケージング、流通およびマーケティングならびにその他の自動販売機関連事業
OTC事業	日本のスーパーマーケット・ドラッグストア・量販店・コンビニエンスストア・オンライン等のOTC（手売り）チャネルにおける飲料等の仕入、製造・販売、ボトリング、パッケージング、流通およびマーケティング事業
フードサービス事業	日本のレストラン・フードサービスチャネルにおける飲料等の仕入、製造・販売、ボトリング、パッケージング、流通およびマーケティング事業

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは従来、「飲料事業」の単一セグメントとしておりましたが、新たに策定した中期経営計画「Vision 2030」の実行と目標達成に向けて各ビジネスユニットの適性に応じた事業運営を行っていく体制としたこと、および、ビジネスユニット別のマネジメント報告体制を確立したことにより、当中間連結会計期間より、報告セグメントを「ベンディング事業」、「OTC事業」および「フードサービス事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

(2) 報告セグメントの情報

当社グループの報告セグメントごとの情報は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	ベンディング	OTC	フード サービス		
外部顧客への売上収益	310,717	313,530	30,738	21,627	676,612
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—
売上収益合計	310,717	313,530	30,738	21,627	676,612
セグメント利益 (△は損失) (注) 2	5,255	38,033	4,962	△33,560	14,690

(注) 1. 「その他」の区分は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上収益の「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業活動から生じた売上収益となります。報告セグメントに帰属しない事業活動には、国内の他のコカ・コーラボトラー社への販売取引等が含まれております。

(2) セグメント利益（△は損失）の「その他」の区分には、報告セグメントに帰属しない事業活動から生じた利益1,695百万円および本社等共通費△35,255百万円が含まれております。本社等共通費は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は事業利益を使用しており、事業利益は売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除し、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減して算出しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	ベンディング	OTC	フード サービス		
外部顧客への売上収益	305,696	321,260	33,301	23,267	683,523
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—
売上収益合計	305,696	321,260	33,301	23,267	683,523
セグメント利益 (△は損失) (注) 2	8,310	40,478	6,343	△30,673	24,459

(注) 1. 「その他」の区分は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上収益の「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業活動から生じた売上収益となります。報告セグメントに帰属しない事業活動には、国内の他のコカ・コーラボトラー社への販売取引等が含まれております。

(2) セグメント利益（△は損失）の「その他」の区分には、報告セグメントに帰属しない事業活動から生じた利益1,955百万円および本社等共通費△32,628百万円が含まれております。本社等共通費は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は事業利益を使用しており、事業利益は売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除し、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減して算出しております。

前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間における、セグメント利益の合計額と税引前四半期利益との調整表は以下のとおりです。

項目	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
セグメント利益の合計額	14,690	24,459
有形固定資産売却益	5,429	1,250
有形固定資産及び無形資産除売却損	△51	△265
子会社株式売却益	—	23
事業構造改善費用	△1,834	△2,683
減損損失	△651	△89,319
特別退職加算金	△17	△3,268
その他	28	△257
営業利益 (△は損失)	17,592	△70,060
金融収益	302	349
金融費用	△657	△489
税引前四半期利益 (△は損失)	17,238	△70,200

(重要な後発事象)

(自己株式消却)

当社は、2025年10月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を決議いたしました。

① 自己株式消却を行う理由

当社は、株主のみなさまへの利益還元と資本効率の向上を経営上の重要課題と認識しており、株主価値向上に向けた株主還元方針に基づき、このたび、自己株式消却を実施いたします。

② 消却に係る事項の内容

- (i) 消却する株式の種類 : 普通株式
- (ii) 消却する株式の総数 : 12,000,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 6.5%)
- (iii) 消却実施予定日 : 2025年11月10日
- (iv) 消却後の発行済株式総数 : 171,268,593株

(注) 1. 上記の自己株式には、役員報酬BIP信託および株式付与ESOP信託が保有する株式は含まれておりません。

2. 自己株式の消却は、本日時点で保有している自己株式を対象としております。